

第5回 全国中学生
創造ものづくり教育フェア

実施要項

本要項はWebページより閲覧できます
<http://www.ajgika.ne.jp>

主 催 全日本中学校技術・家庭科研究会
共 催 文部科学省
(社)全国中学校産業教育教材振興協会

開催の趣旨

二十一世紀におけるIT（情報技術）革命、宇宙科学の進歩、地球環境の改善など新たな世紀の世界については、いろいろな未来像が語られている。この事の取り組みを一つとってみて日本の国力を考えると、日本の科学技術の開発力は、世界第一級の水準にあり、日本には世界に誇れる技術力（ものづくりの力）があることも確かである。

しかしながら、わが国の若者達は「科学技術離れ」「ものづくりの体験の不足」やそれらに対する「無関心の増加」などの現象が教育的な課題になっている。この課題を早急に解決していかなければ二十一世紀の世界の激しい国家間競争の時代に、日本が打ち勝つことはできないのではないだろうか。

この状況の中で、「ものづくり基盤技術振興基本法」が国是として法案化され、基本計画が制定された。この基本計画は、日本が持っている本来の技術力をより一層高め、高度な技術者の育成する「ものづくり教育」の充実・発展を進める具体的な日本の施策である。

このことにより、「ものづくりに関する学習」があらゆる教育の場で取り組むことになったが「ものづくり教育」の学習体系として一貫して進めている教科教育は、中学校における技術・家庭科だけが現実である。

私ども技術・家庭科は、教科発足以来40年間、その時代の社会の変化に適応する人材育成のために「ものづくり ひとづくり くにづくり」を教育の理念として実践を進めてきた。具体的な学習では、本物を対象として「ものづくり」の実践的・体験的な学習を通し、自ら工夫する能力と創造性を発揮し、生活の自立を図る「ひとづくり」に取り組んでいる。

まさに、この教科教育理念や具体的な実践は、世界に通用する日本人の基本的な資質（くにづくり）を育成する教育であり、ものづくり基本法の精神に則った「ものづくり学習」だと受け止めている。

そこで、全日本中学校技術・家庭科研究会では、日々「ものづくり学習」を実践している生徒達の教育的成果を発表し、本教科の「ものづくり ひとづくり くにづくり」の教育理念を一般国民の方々にご理解いただくとともに、これからの「ものづくり教育」の発展・充実のために文部科学省と共催により次のような目的を持った”全国中学生創造ものづくり教育フェア”を開催するものである。

- 1 全国の中学生から、工夫・創造して製作した作品を収集して、生徒の「ものづくり」への意欲・関心を高揚させるために、発表会を行い表彰する場を提供する。
- 2 「ものづくり」に携わる各方面に協力を依頼し、「ものづくり教育」の充実と発展のために、中学生やものづくり教育に関わる関係者等を対象とした研修を実施する。
- 3 「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し活用して製品を完成させ、働く喜びを味わう機会を与える。

開催の概要

- 1 開催期間 平成17年1月22日(土)～23日(日)
- 2 開催場所 「国立オリンピック記念青少年総合センター」 カルチャー棟
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 03-3467-7201
- 3 参加対象 全国の中学生、技術・家庭科担当教諭、ものづくり教育に関わる関係者
- 4 プログラム (1)全国中学生ものづくり競技大会 資料1
技術分野
家庭分野
(2)創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会 資料2
(3)生徒作品コンクール 資料3
(4)体験セミナー・各種コンテスト・エネルギー利用 資料4
(5)ものづくり学習に関する素材・機具等の展示 資料5

プログラムに関する実施要項 (案)

- (1)全国中学生ものづくり競技大会 (運営担当：技術：栃木県、茨城県、学会 家庭：山梨県、長野県、学会)
- ア 木材 (技術分野)・布 (家庭分野)等の素材を一つ指定し、製作品の加工技術やデザイン、創造性を競う。
 - イ 優秀な生徒には、文部科学大臣奨励賞・厚生労働大臣賞をはじめ各賞状を授与する。
- (2)創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会 (運営担当：東京都、埼玉県、九州、学会)
- ア 全国統一規格によるロボットコンテストを各都道府県で実施する。
 - イ 各ブロックで上位入賞したロボットをフェア会場に集め、決勝トーナメントを実施する。
 - ウ 入賞した作品には、文部科学大臣奨励賞・厚生労働大臣賞をはじめ各賞状を授与する。
- (3)生徒作品コンクール (運営担当：新潟県、群馬県、全産協)
- ア 全国各都道府県で作品を募集し、授業内製作作品 (部門) 3点、自主製作作品 (部門) 2点それぞれの分野で計点10点を選出する。
 - イ アの作品470点を審査し、技術分野・家庭分野の優秀作品に文部科学大臣奨励賞・厚生労働大臣賞をはじめ各賞状を授与する。
 - ウ (社)全国中学校産業教育教材振興協会と共催で作品を募集する。
- (4)体験セミナー・各種コンテスト・エネルギー利用 (運営担当：神奈川県、学会)
- 体験セミナー
- ものづくりに関するいろいろな領域に区分しその区分ごとに、ものづくり担当教師や、親子を対象とした体験セミナーを実施する。
- 創造「エネルギー利用」工夫作品
- ア 「動く」「光る」「発熱する」等のエネルギーを利用した作品を全国から募集する。
 - イ 一次審査で選出された作品を、ブロック会長校に集結させ、二次審査として優秀な作品を選出する。
 - ウ イで選出された作品を審査し、優秀作品に文部科学大臣奨励賞・厚生労働大臣賞をはじめ各賞状を授与する。
 - エ 日本産業技術教育学会と共催で作品を募集する。
- 全国各地で開催される各種コンテストの展示
- ア 全国の各研究会が主催して開催されたコンテストの結果を展示する。
 - イ 本研究会が後援した企業主催の各種コンテストの結果を展示する。
- (5)展示 (運営担当：本部)
- ものづくり学習に関する素材・機具等の展示
- ア 一般的な木材・金属・布等に限らず、「ものづくり学習」に有効な素材・新素材等の展示をする。
 - イ 「ものづくり学習」に有効な機具の使い方を含めた、工具・道具・機具を展示する。

